

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（営業担当）	・ようやく秋物の動きが始まったが、客にサイズや素材など価値観を理解してもらえば、販売につながる状態になってきた。
		スーパー（店長）	・過去のトレンドからみて、客単価は徐々に回復しており、また来客数の増加が期待できる。
		家電量販店（経営者）	・プラズマディスプレイなどの大型テレビ、液晶ディスプレイ、映像商品などが春以降引き続き好調であり、この状況は年末まで持続する。
	変わらない	高級レストラン（スタッフ）	・秋の団体旅行と慶弔関係の予約が順調である。
		商店街（代表者）	・郊外の大型店との競争は更に激化するが、一方では中心市街地としての明快な差別化の試みに一定の成果が出ており、悪くなる面と良くなる面が拮抗していく。
		一般小売店〔果物〕（経営者）	・客にまだ消費意欲がみられない。
		百貨店（売場主任）	・秋になっても単価の高い物が売れにくい。客は来店するものの、特に重衣料のスーツ、高額商品などの購入には二の足を踏んでいる。
		スーパー（店長）	・生活防衛意識がますます強まるなかで、商品の特性や機能を訴求し、より安い価格で提供しなければ、客単価の上昇につながらない。
		スーパー（店長）	・客の買物動向は3か月前とほとんど変わらず、好材料も見当たらない。来客数は前年並みであるが、周辺で新しい出店等があるため、チラシの影響を受けて客の買い回りが拡大する。
		スーパー（総務担当）	・客単価の低下は止まったが、来客数の増加は期待できないため、このままの状態が続く。
		家電量販店（店長）	・薄型テレビ、食器洗い機などの新規商品はコンスタントに売れ始めているが、客は既存商品の買換えには非常に慎重である。
		乗用車販売店（総務担当）	・販売台数は新型車を中心に増加しているが、従来車種の売上は伸び悩んでおり、マーケットは縮小傾向にある。
		乗用車販売店（経理担当）	・9月は当社から新型のRV車が登場したが、客の様子からみて全体の売上アップは期待できない。
		乗用車販売店（営業担当）	・RV車の売行きが先月から今月まで前年実績を割っており、今後の消費も冷え込む。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・最近の景気の低迷はどん底に思えるが、更に悪くなるかもしれない。来年9月から酒の免許制度が撤廃されれば、どこでも酒が売れるので、個人の酒屋の見通しは暗い。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	・当社の売上、来客数、買上点数などからみても客の生活習慣に変化はない。客は先行きに対して不安を感じながら、この1年間で生活パターンを確立しており、このまま推移する。
		観光型旅館（経営者）	・依然として宿泊単価の値引きがあり、また館内での消費が減少している。
		観光型旅館（スタッフ）	・9～11月の予約保有数は前年を大幅に上回っているが、12月以降の予約状況はマイナス気味であり、来年3月までとなると不安要素がある。
		旅行代理店（従業員）	・不景気慣れで、客の気持ちが沈んでいる。また、当社で販売する航空券の値下げの影響が痛い。
タクシー運転手	・会社関係のタクシーチケットの利用は依然として減少している。個人の節約傾向も目立ち、タクシーの利用客が増加する要素が見当たらない。		
タクシー運転手	・最近オープンした超大型ショッピングセンターへは自家用車で来店する人が多く、道路は渋滞しているもののタクシーの利用は少ない。		
通信会社（営業担当）	・携帯電話の新規販売件数は8月にやや回復傾向がみられ、9月には更なる増加を期待したが、予想に反して厳しい状況となっている。今後とも不安定な状況が続く。		
設計事務所（職員）	・北陸ではこれから仕込みの時期を迎え、引き合いや提案の動きが出始めたが、客の低価格志向は止まらず、また単なる動きだけに終わる可能性もあり、厳しい状況は変わらない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
企業 動向 関連		住宅販売会社（従業員）	・住宅の取得へ立ち上がる客の数が少なく、市場の広がり小さい。新聞報道の影響を受けて景気が冷えている部分もある。	
		住宅販売会社（従業員）	・秋の展示会の来場者が予想以上に少なかった。	
	やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・クリスマスを含め年末にかけてのギフト需要の見通しが立たず、また冬のヒットアイテムが決まっていない。	
		百貨店（営業担当）	・北陸最大級のショッピングセンターの新規開店により、市場は完全にオーバーストア気味となっている。また、価格は一層低下するものの、市場のパイは広がらないため、流通全体としてはますますダウンすることが予測される。 ・高額品の動きは春から夏に向けてかなり鈍化している。今後、消費者の低単価志向はますます強くなり、必要最低限度のものしか選ばないという状況に陥る。	
		コンビニ（エリア担当）	・来客数の減少は下げ止まったが、客単価の低下が続いている。これは一品単価の低下よりも買上点数の減少の影響が大きい。部門別にはファーストフードとアルコール商品の買上点数、売上の減少が目立つ。	
		住関連専門店（店長）	・天候のせい、季節商品の動きが非常に悪い。こたつ本体や布団では正方形の小さい商品は売れるものの、大型は売れない。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・観光客の増加が続き、宿泊部門とレストランの通常営業は好調に推移する見込みであるが、一般宴会は学会などの大型宴会が今年はないこと、婚礼宴会は郊外のゲストハウス型婚礼施設の高い人気の影響により受注件数が減少していることなどにより、全体の収入は前年を下回る見通しである。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会部門は秋の大型物件があり、また予約状況も順調であるが、レストラン部門の予約は引き続き横ばい状態で弱い。また、秋の婚礼の予約件数が大幅に落ち込んでいるため、全体の売上では減少が予想される。	
		住宅販売会社（従業員）	・住宅フェアの来場者は激減しており、住宅の取得を考えている人が減少しているように思われる。	
	悪くなる	コンビニ（経営者）	・売上低迷の原因の一つとして、弁当を自宅で作る人の増加が挙げられるが、このような状況が今後更に顕著になる。	
		テーマパーク（職員）	・金沢の大河ドラマによる大型イベントは来年の正月で終了するため、旅行代理店では今後北陸がらみの旅行の企画が組みにくいとしており、集客が鈍ることが予想される。	
	企業 動向 関連	良くなる	-	-
		やや良くなる	化学工業（営業担当）	・関係販売会社の販売拠点拡大の効果が今後も見込める。
		変わらない	プラスチック製品製造業（企画担当）	・東京都心のマンション関係は活発に動いているが、戸建て住宅の動きは非常に悪い。
金属製品製造業（経営者）			・先行きの受注状況を見ると、ほぼ下げ止まった感がある。	
輸送業（配車担当）			・年末に向けて物量の増加する取引先もあるが、逆に10月に値上げをした製紙メーカーなどは反動で荷動きが悪くなり、全体としては変わらない。	
輸送業（配車担当）			・運送業界では多種多様な荷主からの物流を扱っているが、いずれも明るい材料がないため、先行きはせいぜい横ばいとみる。	
通信業（営業担当）			・客からのコスト削減の要求が強く、他社でも法人部隊を強化していることから、今後法人向けの携帯電話競争は一層厳しくなる。	
司法書士			・事務所の新築・移転や子会社の設立などの相談案件は、経営状況の良い特定の法人に限られている。	
やや悪くなる		食料品製造業（企画担当）	・消費は引き続き低迷し、販売単価の上昇が望めない状況の下で、原材料の高騰が顕著なため収益面での圧迫がますます強まる。	
		精密機械器具製造業（経営者）	・同業の中堅企業が民事再生法の申請をしたり、あるいは今月末で廃業するなど、実際に仕事がつまみかかないため営業をやめる会社が出始めており、今後増加する懸念がある。また、年末に向けて在庫調整のため受注が落ちるのが例年のパターンであるが、販売不振のためこれが加速する傾向がみられる。	
	建設業（総務担当）	・大都市の建築工事の受注は今後もある程度見込めるが、北陸3県の建築工事では受注量、価格において、また全地域の公共土木工事では受注量において引き続き厳しい状況が予想される。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	建設業（経営者）	・最近、公共土木工事主体の会社が倒産した。また、当社でも取引先から手形決済日の延期依頼を受けており、「間もなく危ない」と言われる建設会社が目白押しである。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者） 新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告の掲載に関する問い合わせの電話が、県内外を問わず増加している。 ・最近では求人広告の売上が前年を上回っており、求人数が若干増加してきたような気がする。
	変わらない	職業安定所（職員）	・最近の求人増加の要因であるパートやアウトソーシングの求人は横ばいであるが、常用雇用者を求める企業の割合は増加傾向にある、しかし、条件面では即戦力や低賃金など依然厳しい状況が続く。
		職業安定所（職員）	・新規求人は堅調に伸びている。また、新規求職者はやや減少しているが、今月も大型のリストラ情報が数件入っている。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・従来、当社の売上は10月から12月にかけて次第に上昇するパターンであるが、今年はその動きが見られない。このまま来年3月までヤマのない状態が続けば、相当厳しい。
悪くなる	-	-	